

# 情報サービス演習II 第14回 統計の探し方

鶴見大学 非常勤講師  
江草由佳  
(国立教育政策研究所 総括研究官)  
yuka@nier.go.jp

1

## 本日のお品書き

- お知らせ
- 試験について
- 第15回演習課題
- 統計の探し方
  - 総務省 統計局・政策総括官 (統計基準担当)・統計研修所
  - 政府統計の総合窓口
  - 白書・年次報告書等
  - 専門分野の統計情報

2

## お知らせ

- 試験
  - 5回以上欠席した人は受験資格がありません

3

## 試験について(1)

- 論理演算
  - 論理積(AND)
  - 論理和(OR)
  - 論理差(NOT)
  - ☒も描けるように
- トランケーション
  - 前方一致
  - 後方一致
  - 中間一致
  - 中間任意
  - ワイルドカード
  - マスク文字

※リンク集の作成方法については出しません  
(レポートを出したため)

4

## 試験について(2)

- 使った情報資源の特徴を覚える
  - 主題・テーマは？
  - Webページ？本？論文？
  - どんなことがわかる？
  - 所蔵情報？全文？
- どんな検索要求のときに、どの情報資源を使えばよいか
  - 例：夏目漱石が書いた「我輩は猫である」の全文を読みたい
  - どの情報資源を検索すると良い？

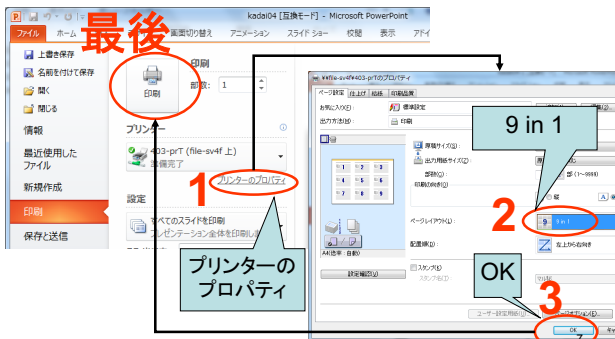
5

## 第15回演習課題

- 演習課題を実行し、講義Webサイトから、回答用紙をダウンロードし、PowerPointで作成して、9分割両面印刷して提出しなさい。
  - 課題名に：第\_\_回演習課題と入れなさい
  - 切：次回演習開始時
- 「情報サービス演習II」、「第\_\_回演習課題:統計の探し方」、「時限」「学籍番号」、「名前」、「提出年月日」を忘れずに記入すること

6

## 参考：9ページをまとめて一枚として印刷する方法※



※鶴見大学 402教室,403教室のパソコンでのやり方です。

8

## 統計の特徴とそのアプローチ

- 統計的なデータは統計索引を活用する
- 以下の情報資源を利用する
  - 統計年鑑
  - 年鑑
  - 白書
  - (統計を中心とした)便覧
  - ファクトデータベース

8

## 統計局ホームページ

- <http://www.stat.go.jp/>
- 総務省が管理する統計を公開
- 国勢調査、人口推計、日本統計年鑑、日本の統計、世界の統計などの統計の一覧をExcelで提供
- 統計に関する情報を見たいときは最初にみるべきサイト
- 日本統計年鑑の最新版が閲覧可能
  - 「統計データ」の「分野別一覧」をクリック
  - 「総合統計書等」の「日本統計年鑑」リンクをクリック
  - 「本書の内容」をクリック
  - 「日本統計年鑑全文(HTML5)」の下のリンクをクリック
  - 「全文閲覧」へのリンク、目次等が表示される
  - PowerPointへ
  - 各目次をたどると、統計データがExcelで入手できる

9

## 演習:日本の人口

- あなたの誕生年の日本の人口は何人か？
  - (表は1000人単位になっているので注意)
- 日本統計年鑑の最新版を使って答えなさい
  - 載っている表の画面を → [PowerPointへ](#)
  - (該当の年と人口が見えるように)

10

## 政府統計の総合窓口

- <http://www.e-stat.go.jp/>
- 各省庁が公開している統計表を総合的に検索できる
  - “統計データを探す”の「ファイルから探す」をクリック
  - “統計一覧”に「インターネット 人口」を入力
  - “検索”ボタンをクリック
  - 統計表名がリンクになっているのでそのリンクをクリックすると、説明が閲覧できる → [PowerPointへ](#)
  - 「CSV」のリンクをクリックすると、実際の統計データCSVがダウンロードできる CSVを開いてみる → [PowerPointへ](#)

11

## 白書・年次報告書等

- 白書、年次報告書、年鑑にある統計情報がある
- 「電子政府の総合窓口」に、白書等へのリンクあり(白書、年次報告書等)
  - [http://www.e-gov.go.jp/publication/white\\_papers.html](http://www.e-gov.go.jp/publication/white_papers.html)全文や要旨へのリンクがある。
- 演習:任意の白書等の統計情報の画面を表示させる → [PowerPoint](#)(白書名、たどった方法など簡単に説明をつける)

12

## 専門分野の統計情報

- 日本図書館協会:日本の図書館統計
  - <http://www.jla.or.jp/library/statistics/tabid/94/Default.aspx>
- 最高裁判所:司法統計
  - <http://www.courts.go.jp/search/jtsp0010>

13

## ファクトデータベース

- 過去の気象データ検索
  - <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>
  - 横浜の降水量:過去50年間で最も少なかった年は何年か？
    - 都道府県:「神奈川県」を選ぶ
    - 地点:「横浜」を選ぶ
    - データの種類:「年ごとの値を表示」を選ぶ
    - 「降水量」の列を見る → [PowerPointへ](#)
      - 何年かを記入する

14